

ごあいさつ

世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、皆様におかれましても大変な状況に置かれていることと拝察致しますとともに、心よりお見舞い申し上げます。このような状況のため、2020年3月に宮崎県において予定しておりました研究大会は、延期せざるを得なくなりました。それに伴いまして、九州支部が発行する「九州の物理教育 Vol.6」も、発行を延期する運びになりました。何卒ご理解下さいますよう、お願い申し上げます。

これまでの九州支部の活動を振り返ってみますと、2013年度には福岡、2014年度には長崎、2015年度には熊本、2016年度には大分、2017年度には鹿児島、2018年度には佐賀において、総会・研究大会を開催して参りました。各県の支部会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、また、たくさんの支部会員の皆様の参加を得て、会員相互の顔が見える集まりとして定着して参りましたことを、心より感謝申し上げます。2019年度は残念ながらコロナウイルスの影響のため延期となりましたが、いったん仕切り直して、むしろ非常事態における物理教育の手法など、延期の後に開催される研究大会では、いっそう活発な議論がなされることを願っています。

九州支部は、巨海玄道先生のお声掛けで立ち上がり、その後、副島雄児先生の支部長としてのリーダーシップのもと、力強く歩んで来ました。九州支部が目指す活動の在り方の一つの方針として「九州地区全体が一体となった活動」を掲げています。支部長はじめ支部理事会を固定化せずに流動的な組織編成とし、まずは長崎や熊本からもメンバーを加えて、支部理事会全体が意思疎通をしながら一致協力して活動を進めることを目指しています。そのような方針を受けて、2019年度より長崎在住の私が支部長を拝命しています。

九州支部は8年目の活動に入ります。次のステップとして「九州全体で活動する」という体制の実現のために、まだ越えなければならない壁もあるとは思いますが、各県から選出された支部理事会、そして、支部連絡委員のメンバーで中核が形成され、九州全体が一丸となった活動が展開されることを願っています。支部会員の皆様が更につながりを深め、そして「九州の物理教育」がいっそう有意義なものになっていくことを願っています。

2020年6月

日本物理教育学会 九州支部長 福山 隆雄